

「落花生」生育情報（臨時報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

平成29年7月27日
千葉県農林水産部
生産振興課

管理のポイント

早急にかん水しましょう！

県内では、降水量が少ない状況です。

7月下旬～8月上旬は、落花生の子房柄が伸長して地中で莢ができ、莢実が肥大する時期に当たります。この時期に干ばつ害を受けると、空莢や未熟粒が発生し、収量が大きく減少します。

また、採種する場合は、幼芽褐変症が発生しやすくなり、種子に発芽障害が生じます。

収量を低下させないために、

- 開花期後20日頃から、週1回を目安にかん水し、
採種する場合は、開花期後40日頃にもかん水しましょう。
- 1回のかん水量は、30ミリ以上の「十分なかん水」を心がけましょう。

（参考）開花期後のかん水有無の違いによる子実の状況

開花期後20日にかん水すると、稔実率が上がる。



（注）ガラスハウス内の枠圃場での調査結果

図 開花期後40日の子実状況（平成27年 千葉県農林総合研究センター）